

【食道がんの放射線治療を希望される患者さまへ】

当院では、食道がんの放射線治療を希望される患者さんを対象に臨床試験にご参加いただける方を募集しております。

○この試験について

食道がんの治療では、ごく早期の場合を除いて抗がん剤と放射線治療を併用する化学放射線療法が広く行われています。今回の試験は、放射線をどれくらい照射するのがよいかを確かめることを目的としています。

海外では 50.4 グレイ(1 回 1.8 グレイを 28 回)が広く行われていますが、日本においては以前より 60 グレイ(1 回 2 グレイを 30 回)が広く行われてきました。最近では海外標準の 50.4 グレイで治療を行う施設も増えてきていますが、どちらが優れているのか結論は出ていないのが現状です。

東大病院では食道がんの放射線治療を長年行っておりますが、今回、50.4 グレイと 60 グレイのどちらが優れているか確かめることになりました。

○治療の特徴

- ・ 初回の抗がん剤治療のときだけ 1 泊 2 日の入院をしていただきます。
- ・ 高精度の放射線治療(IMRT)で治療を行います。
- ・ 仕事を続けながら治療をすることもできます。
- ・ 万一、抗がん剤治療・放射線治療で治りきらなかった場合は手術を検討します。

○治療の詳細

・放射線療法

VMAT-IMRT 50.4 グレイ / 28 分割 あるいは 60 グレイ / 30 分割 のいずれか

Day1-38 あるいは Day1-40 の 6 週間の治療となります

・抗がん剤治療

ネダプラチン $80\text{mg} / \text{m}^2 / \text{day}$ を Day1、Day29 の 2 回 点滴静注

TS-1 $800\text{mg} / \text{m}^2 / \text{day}$ を Day1-14、Day29-42 の期間に内服

*効果が得られた場合、上記と同様の 2 サイクルの抗がん剤治療を追加します。

治療終了後は定期的に血液検査・CT 検査などを行い、残存や再発がないか確認を行います。

詳細については、下記にご連絡いただけましたら説明いたします。

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 放射線科 放射線治療部門

研究責任医師 放射線科 講師 山下 英臣 (内線 : 37408)

E-mail : yamashitah-rad@h.u-tokyo.ac.jp

TEL : 03-5800-8667 (放射線治療部門直通電話)

FAX : 03-5800-8935